OMU 大阪公立大学人権問題研究センター

RCHR 第200回サロンde人権

「部落出身であること」をめぐる当事者の戦略と経験

―誰に、なにを、どう語る/語らないのか―

話題提供：澤井　未緩 氏

（大阪公立大学 人権問題研究センター特任研究員）

12月23日（水）午後２時～４時

大阪公立大学　人権問題研究センター共同研究室

定員　対面 10名　オンライン 100名

事前申込・先着順

参加希望者は下記 URL より前日正午までにご連絡ください。
定員に達し次第締め切りとさせていただきます。
https://forms.cloud.microsoft/r/Q10eDxC7gF

12月のサロンde人権の参加申し込みフォーム

見えづらい出自という性質を「あえて／わざわざ」明らかにすることで自らの立場の自覚と社会変革を促すカミングアウトは、同和教育実践が根付く学校教育において大切にされてきました。

本話題提供では、部落出身という出自を、当事者は誰に・どのように語るのか、またはその語りはどのようにして可能になるのか、ならないのか、この問いを出発点とし、同和対策事業関連法が失効したあとに義務教育を受けた部落出身の若者へのインタビューから、出自を語ることをめぐるさまざまな戦略と経験を描き出します。

無料